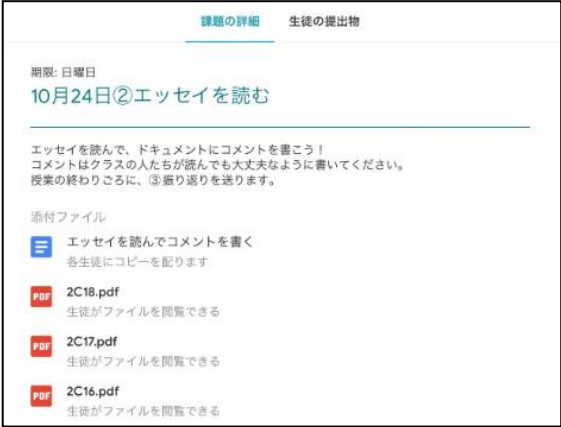


(別紙様式) 令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立矢掛高等学校		
実践者等		小河原 碧	実践日	令和4年10月24日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		国語・現代文B(ミロのヴィーナス)		
対象生徒(学年等)		普通科2年		
育成を目指す資質・能力		☐ 知識・技能 ☒ 思考力・判断力・表現力等 ☒ 学びに向かう力・人間性等		
分類	授 業 中	☐ クラウドやアプリの活用 ☐ デジタルデータの保存 ☐ 思考やデータの可視化		
		☐ データの共有や共同編集 ☐ 対話を充実させる活用 ☐ 思考を促す活用		
		☒ 表現を充実させる活用 ☒ 課題のやり取りと評価の支援 ☐ 効率化や省力化		
		☐ その他()		
	家庭学習	☐ 振り返り ☐ 探究 ☐ 反転学習 ☒ 補習・定着		
実践の内容				
【授業】 家庭学習日に課題配信で授業(他の生徒が書いたエッセイを読み、評価する活動) (1) 授業開始前に Classroom 質問(選択式)を投稿する。生徒の解答により出欠確認をする。 (2) Classroom 課題で、提出された生徒のエッセイ(PDF)を投稿すると共に相互評価シートのコピーを各生徒に配り、クラスメートのエッセイの評価を記入させる。 ※授業時間中は生徒が記述している相互評価シートを見て、必要に応じてコメントを残した。 (3) 授業終了前に Classroom 質問(記述式)で、進捗状況とエッセイを読んだ感想を記述させる。 ※(1)～(3)の流れで実施することは事前に生徒に連絡している。全て決められた時刻に投稿されるように設定し、おおよその投稿時間も事前に生徒に伝えている。				
				
【本時と家庭学習との連動】 (本時前) エッセイについては、30分程度授業で書く時間を設けた。それ以外は家庭や休み時間等を利用して取り組ませ、提出させた。 (本時後) 相互評価シートの提出締め切り後、各生徒から提出された相互評価シートを PDF にして投稿する予定である。				